

# ポム・ド・パン

2017

Sep

vol. 24

- 障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
- グループホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地1 TEL・FAX 087(888)2557

管理者 松原 正子

- 発行／社会福祉法人ポム・ド・パン
- 発行日／2017年9月30日

## 多目的研修棟

～文化・創作・余暇活動の拠点～

(H29.7竣工)



## オレンジドーム

～雨天時等の屋外作業や療育活動の拠点～

(H29.7竣工)



楽しみ  
いっぱい  
様々なことに  
チャレンジ



天気に左右されることなく伸び伸びワクワク

## ポム・ド・パンの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

# 多目的研修棟 の紹介

## 清潔感漂う玄関



1階玄関。履物がスッキリと収納できるよう工夫されています。

## 落ち着いた空間



小さいリラックススポットで窓から中庭が見渡せます。  
カウンターテーブルもあります。

## 約100名収容(153.45m<sup>2</sup>)可能



利用者の創作・音楽・夕食後の余暇活動や、職員の研修、各種会合等、多目的に活用します。〈プロジェクト完備〉

## 東の窓は大パノラマ



高松空港へ着陸直前と離陸直後の航空機が目の前に見えます。

これまで利用者の居住環境と日中の作業環境の整備を図ってきました。しかし文化・創作・余暇活動や雨天時等の屋外作業、また、会議室が狭いため職員研修・会議等に支障をきたしていました。これらの課題を解消するため、平成29年1月から6ヵ月間の工期で、多目的研修棟とオレンジドームの建築に着手し、平成29年7月20日に完成しました。期待通りの素晴らしい建物です。

今後大いに活用して、利用者の生活を豊かにするための活動等に取り組んで行くことができます。



# 地域とのつながり



## 三谷町春季大運動会

5/20  
(土)

三溪小学校で行われた三谷町大運動会に参加!『みたにんトライ・明日ラン』の種目…次々の困難をクリアしてゴールに向かう利用者に大声や拍手で応援!全員で参加した玉入れでは沢山の玉を拾い、人気No.1のパン食い競争では口だけで取るのが難しく、慌てて手で取る場面もあり!! テント横に設置していたミスト扇風機に興味深く手をかざし涼を感じていた利用者もあり!! 地域の方々と一緒に充実した経験の一日本になりました。

生活支援員 吉本 唯人



## 三溪幼稚園バザー

6/24  
(土)

今年度、初めて参加!当日、販売テントを設置して頂き、バザーを通して地域の方との交流に充実した時間を過ごす事ができました。今、地域社会での「入所施設」の位置づけは、まだまだ認知が低いことが現状ですが、このバザーを通じてウインドヒルも地域の一部なのだと実感できるひと時を過ごさせて頂きました。

副管理者 鈴木 克幸



## 毎年恒例の三谷保育所の夏まつりに参加!

当時は新鮮で無農薬の野菜、玉ねぎやにんにく、利用者が日々の作業で作っているエコポット鉢、刺繡入り雑巾、今回新たに炭焼き釜で作成した竹炭等、様々な品を準備しました。特に好評だったのが事前に園児にお楽しみ引換券を配布し、店頭で好きなおもちゃに交換してもらうというもの。そんな園児達との交流が、利用者にとって貴重な体験になったのではないかと思います。

生活支援員 鍋谷 明子



7/15  
(土)

## BBQ

ウインドヒルの夏のイベント、利用者さんも大好きなバーベキュー大会を今年も開催!参加人数は約170名となり、地元の通谷西自治会の皆さん、三溪小学校、幼稚園、三谷コミュニティーの関係者をお招きし、大いに親睦を深める事ができました。とても暑い時期ですが、地域交流棟前に新設した『オレンジドーム』により直射日光を浴びることなく、屋外の開放感の中で快適にバーベキューを楽しみました。また初参加の学生さんや多くのボランティアの皆さまの協力に支えられ、利用者さんにとって良い思い出になりました。

生活支援員 村川 文生



7/29  
(土)

## 林ふれあい夏まつり

7/22  
(土)

高松市の長池中央公園にて、フレッシュクラブ講師の小野川先生と一緒に「エビカニクス」を踊りました。ステージの上で、大勢のお客さんの前でも堂々とした姿に、たくさんの拍手をいただきました。手作りのカニの手もいい味をだしており、良い経験となりました。

栄養士 新名 亜希子



## 三溪小学校清掃ボランティア

毎月

高松市三谷町にある三溪小学校で行われている、月に一度の校内一斉清掃の日に合わせて、ウインドヒルでは清掃ボランティア活動を行っています。最近の主な清掃場所は校内にあるビオトープ。池を一周する小道の草を抜いたり、ガンジキで落ち葉を集めたり。今年の夏も、暑さに負けず頑張っています。いつも優しい笑顔で迎えてくださる教頭先生や元気に挨拶をしてくれる子供たち。「今日も校内をきれいにしよう!」と頑張る気持ちが湧いてくる利用者の笑顔が嬉しいです。

生活支援員 谷本 展恵



5/30

## 発達支援センター 香川こだま学園へ寄付(ワンコイン運動)

ウインドヒルでは東日本大震災、熊本地震の被災への義援金を法人の職員・保護者・関係者などから募り「ワンコイン運動」として実施しています。日本財団を通じて義援金を行い、今回で6年目を迎えました。

平成28年度からは震災の義援金に限定したものではなく、社会や地域にも役立てていこうと考え、高松市にある児童発達支援センター香川こだま学園さんへ寄付となりました。障害のある方への幼児期の支援はとても重要で、社会生活を送る成人になる頃には幼児期の関わりが大きく反映されます。

そういう重要な時期の子供たちへの支援を同じ地域で携わっているこだま学園さんに少しでも力になればという想いから選定させていただきました。

今後とも、皆様の気持ちを社会に地域に伝えていけるようにご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

副管理者 鈴木 克幸



# ウインドヒルの主な行事

新

毎月

## バドミントン

5月より、新レクリエーションとして始まりました。奥田コーチからラケットの振り方、シャトルの当て方と、一つずつ丁寧に指導していただいている。月2回の指導の中で、ゲームができる目標に頑張っています。

生活支援員 神前 武宏



## 5/18(木) ホテルクレメント会食

JRホテルクレメント高松テラスピアガーデンのプレオープンの招待を受け、ランチバイキングを堪能してきました。会場には約200名の方々でとても賑わっていました。

食べ過ぎ注意、服装大丈夫?など、心配をよそに関係者の挨拶が終わると、利用者は各々が好きな食べ物の所へ行き、順番に並んでお皿を取り、席に戻って「いただきます!」を合図に美味しく頂きました。

主任生活支援員  
和田 真由美

6/9(金)

## 第8回福祉協会 フライングディスク大会

丸亀市にある飯山総合運動公園にて開催された、福祉協会フライングディスク大会に14名の利用者の方が参加!飛ばした距離を競うディスタンス競技、10本中何本が輪の中を通ったのかを競うアキュラシー競技の2種類に参加。毎年参加している大会であり、施設での練習の成果が出せた方、本番で緊張してしまい実力がだせなかつた方と様々でしたが、年々利用者の方の上達を感じ嬉しく思いました。

生活支援員  
鎌田 泰明5/17  
(水)

## ナイスハート ふれあいのスポーツ広場

長袖の洋服を着るには暑くなってきた初夏の5月、善通寺市民体育館にて自動車総連主催のナイスハートスポーツ大会が開催されました。ウインドヒルの利用者さん、保護者さんによる選手宣誓で大会開始です。

チーム一丸となり様々な競技に参加しました。良い汗をかいた後は美味しいお弁当を食べ、歌手の江島ちあきさんの「涙そうそう」を聞いて、ほっこり一息。充実した一日を過ごしました。

生活支援員  
安倍 晶子6/6・13  
(火)

## 外食



こはる食堂で外食、公渕公園でお弁当の2組に分かれて、外食行事を行いました。

食堂までウォーキング、公園ではレク活動でしっかりお腹を減らした後は、普段とは違った場所・雰囲気での豪華な食事です。お肉、魚、もちろん野菜も、皆さん目を輝かせていただきました。

事務員 松原 健太

7/10  
(月)

## 災害時食事体験

常備している非常食を入れ替える機会を利用して、災害時を想定して利用者と職員で非常食を食べる試みを地域交流棟にて行いました。細かな課題や改善点はありましたが、利用者は普段と異なる場所や食事内容であっても、大きな問題行動を起こすこともなく、概ね落ち着いて参加できていました。様々な体験の積み重ねと、身についた「座る」「待つ」「聞く」が活かされていることを感じました。今回の体験を活かし、いつ起こるかもしれない災害にしっかりと備えていきたいと思います。

主任栄養士 堀 仁美



## 職員研修

### ・歯科研修 口腔ケア

主任看護師 金川 恵子

5月2・26日

職員研修として、しん治歯科の荒木医師、楳野歯科衛生士さんを講師にお招きし、口腔ケアについて講習していただきました。

口腔内のしくみを知って歯磨きをすることは、利用者の方の歯磨きへの抵抗を少なくするだけでなく職員側も支援がしやすくなることが分かりました。口腔内を清潔にして、歯周病や全身疾患を予防し、現在の機能(摂食、咀嚼、嚥下など)を出来るだけ維持できるように努めていきたいと思います。



### ・救命救急・AED講習会

主任看護師 金川 恵子

6月20・30日

職員研修として2日間にわたり、高松市消防局消防防災課応急手当職員、フクダ電子の職員の方を招へいし、救急救命・AED講習を行いました。今回で5回目となります。回を重ねての講習であり、手順を丁寧に確認しながらの進行となりました。

今回は今までそれ程重要視されてなかった周囲の安全確認をしてから近づく(=要支援者を増やさない)ということを双方の方が強調されたのが印象的でした。



### ・第25回自閉症セミナー

生活支援員 松田 仁美

8月23・24・25日

8月23日～25日の3日間、東京で開催された第25回自閉症セミナーに参加させていただきました。(私個人として20年ぶりの東京でした。)研修では、認知発達治療の理論と実践という事で今までの歴史や薬物療法、主なテーマである太田ステージ評価の方法・活用を中心とした講義でした。今回、研修で学んだ事は自分でも様々な現場で発信しながら研修での知識が十分に現場で発揮でき、利用者に対する支援がより良く繋がるように実践していき大いに役立てるものとなりました。



## 炭焼き釜で作る!「竹炭」

ポム・ド・パン後援会から炭焼き釜を寄贈していただきました。施設の敷地周辺には竹林があり毎年伐採し整備しています。伐採した竹は粉碎機にかけて細かくし肥料として畑に散布していますが太い竹は粉碎できず焼却処分していました。法人として環境保全・リサイクル活動を推進している中、以前から竹を炭にする計画があり簡単にできる方法はないかと調べたところ移動式の炭焼き釜があるとのことでポム・ド・パン後援会からの寄付に繋がり、応援してくださいました。



また、試作で竹炭を作りました。工程時間は火入れをして6時間ほどでその後釜止めをして自然冷却をし翌日には立派な竹炭ができ上がります。幼稚園や保育所のバザー会場で出品し好評を頂きました。

主任作業指導員 松尾 能之

# ご寄付をいただきました。

～暖かなお気持ち～

ありがとうございました。  
今後ともよろしくお願ひします。

保護者会さまより

マイクロバス

トヨタ  
コースター



## 「新旧マイクロバスに思う事」

平成29年7月12日、ウインドヒルに新しいマイクロバスが納車されました。同時に、施設開所時より約13年間、利用者さんの足となり、様々な施設行事に活躍していた初代マイクロバスが、役目を終えました。近年は、郊外への療育活動に伴い、出番も増えた上、バス自体の老朽化の為か、療育中にトラブルもあったと聞いて、保護者も心配しておりました。二代目となる新車のマイクロバスは、利用者さんの安全の為にも、今後の療育活動や、各種の施設の行事に役立ってくれると期待しております。これからも、すべての利用者さんの、笑顔と笑い声を乗せて、讃岐の大地を走り続ける事を祈っています。

保護者会会長 岩部 和子

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

(敬称略・順不同)

### ◆個人会員 平成29年度 平成29年5月1日～平成29年9月4日

森 ヨシ子	沖野 昌志	沖野 貴子	沖野 知晴	小野 晴世	上田 祐市	上田 絹代	上田 和正
小松千賀子	荻野 正巳	木内 茂巳	木内 真由美	森永 政子	後藤 博幸	後藤加代子	高木 俊幸
中川 英世	中川喜代美	大矢三千代	藤岡 重朝	藤岡ツヤ子	藤岡 正温	筒井 政志	近藤 勝
宮武 宏	宮武 孝宏	杉崎 行春	川井 浩三	松下 紗子	松下 学	小山美千代	小山カヲル
磯部 康子	木下明友美	三好美千代	小川 直美	高木美枝子	西山 史郎	西山 圭子	池下 律子
築山 浩二	多田 準一	大西 敏夫	歳森登喜恵	松本 淳子	横田 忠	原田 和弘	細井 千秋
真嶋 方文	真嶋 邦子						

### ◆団体会員 平成29年度 平成29年5月1日～平成29年9月4日

田中電気保安管理事務所 J F 卓球クラブ 株生コン輸送

平成29年5月1日～平成29年9月4日現在、以上の方々にご継続及び新規にご入会頂きました。平成29年9月5日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させて頂きます。本当にありがとうございました。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とグループホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にした理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき、「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようにお願い申し上げます。

年会費 個人会員 一口 3,000円 団体会員 一口 10,000円

ご入金方法 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました。

## 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日(至)平成29年3月31日  
(単位:円)

第1号の1様式

勘定科目		決算
事業活動による収支	就労支援事業収入	2,633,256
	障害福祉サービス等事業収入	256,193,625
	借入金利息補助金収入	361,250
	経常経費寄附金収入	2,565,368
	受取利息配当金収入	45,254
	その他の収入	548,157
	事業活動収入計(1)	262,346,910
	人件費支出	141,905,350
	事業費支出	30,792,225
	事務費支出	14,597,245
支出	就労支援事業支出	2,308,430
	支払利息支出	461,240
	事業活動支出計(2)	190,064,490
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	72,282,420

勘定科目		決算
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	150,000
	施設整備等寄附金収入	5,132,368
	施設整備等収入計(4)	5,282,368
	設備資金借入金元金償還支出	5,833,000
	固定資産取得支出	85,866,156
	その他の施設整備等による支出	41,418
	施設整備等支出計(5)	91,740,574
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-86,458,206
	収入その他の活動収入計(7)	
	支出積立資産支出	892,228
その他活動による収支	その他の活動支出計(8)	892,228
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-892,228
	予備費支出	一
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)-(10)	-15,068,014

前期末支払資金残高(12)	305,667,999
当期末支払資金残高(11)+ (12)	290,599,985

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在  
(単位:円)

第3号の1様式

資産の部		当年度末
流动資産	現金預金	293,394,186
事業未収金	18,337,762	
貯立金	730,236	
固定資産	570,110,665	
基木財	454,974,207	
土地	136,230,300	
建物	514,782,773	
減価償却累計額△	196,038,866	
その他の固定資産	115,136,458	
建物	2,706,159	
構築物	47,105,886	
機械及び装置	8,471,780	
車輌運搬具	10,696,312	
器具及び備品	24,946,479	
建設仮勘定	72,623,800	
減価償却累計額△	57,089,994	
権利	46,000	
ソフトウエア	397,000	
退職給付引当資産	5,191,618	
長期前払費用	41,418	
資産の部合計	863,504,851	

負債の部		当年度末
流动負債	事業未払金	8,627,201
1年以内返済予定設備資金借入金	2,414,480	
職員預り金	5,833,000	
固定負債	379,721	
設備資金借入金	26,024,618	
退職給付引当金	20,833,000	
負債の部合計	5,191,618	

純資産の部		当年度末
基本金	209,160,000	
基金	209,160,000	
国庫補助金等特別積立金	189,658,679	
国庫補助金等特別積立金	189,658,679	
次期繰越活動増減差額	430,034,353	
次期繰越活動増減差額	430,034,353	
(うち当期活動増減差額)	59,144,451	
純資産の部合計	828,853,032	
負債及び純資産の部合計	863,504,851	

## 事業活動収支計算書

(自)平成28年4月1日(至)平成29年3月31日  
(単位:円)

第2号の1様式

勘定科目		当年度決算
サービス活動増減の部	就労支援事業収益	2,633,256
	障害福祉サービス等事業収益	256,193,625
	経常経費寄附金収入	2,565,368
	その他の収益	
	サービス活動収益計(1)	261,392,249
	人件費	142,797,578
	事業費	30,792,225
	事務費	14,597,245
	就労支援事業費用	3,508,905
	減価償却費	22,602,920
費用	国庫補助金等特別積立金取崩額	-11,075,286
	サービス活動費用計(2)	203,223,587
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	58,168,662
	借入金利息補助金収益	361,250
	受取利息配当金収益	45,254
サービス活動外増減の部	その他のサービス活動外収益	548,157
	サービス活動外収益計(4)	954,661
	支払利息	461,240
	サービス活動外費用計(5)	461,240
サービス活動外増減の部	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	493,421
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	58,662,083

勘定科目		当年度決算
特種増減の部	施設整備等補助金収益	150,000
	施設整備等寄附金収益	5,132,368
	施設整備等収入計(4)	5,282,368
	設備資金借入金元金償還支出	5,833,000
	固定資産取得支出	85,866,156
	その他の施設整備等による支出	41,418
	施設整備等支出計(5)	91,740,574
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-86,458,206
	収入その他の活動収入計(7)	
	支出積立資産支出	892,228
その他活動による収支	その他の活動支出計(8)	892,228
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-892,228
	予備費支出	一
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)-(10)	-15,068,014

# ウインドヒルに研修・見学に来られました

## ～香川県人権擁護委員連合会 高齢者・障害者人権委員会一同様～

拝啓、ウインドヒル様。去る、平成29年6月16日(金)には大歓迎いただきありがとうございました。

香川県人権擁護委員連合会「高齢者・障害者人権委員会」男子4名、女子3名です。

当日は、ウインドヒルのみなさま方の活動に思わず心の中で大拍手。

紙面の都合で一場面のみ感想……。「はなまるうどん箱折り」作業。あざやかな早技でその手さばきはまさにマジック。ついつい見とれてしまいました。

それぞれの作業にウインドヒルのみなさんが一丸となって取組む姿に大声援を送ります。

今回、高松市三谷町の丘の上に「働きがい」「学びがい」「遊びがい」—(生きがい)のあるスポットに躍動するウインドヒルのみなさま方から教えていただいたことを県内外に力強く発信してまいります。

最後に、お体を大切に今後のご活躍を!!



## ～小豆島町より、行政の方、議員の方、保護者様～

先日、ウインドヒル視察を終えて小豆2町の行政関係者ほか、小豆島町議会議員、小豆郡手をつなぐ育成会の会員で、県内障がい者施設の視察先としてウインドヒルを訪れました。



皆初めて見学する施設に高い関心を示し、松原管理者のご説明に終始熱心に耳を傾けていました。一緒に行った障がいのある子をもつ保護者からは、施設が利用者やその保護者の思いに寄り添った支援をしており、利用者とのやりとりや日常生活全てが利用者の目線に立っていることがよく感じられ、また中心部から離れた立地が安心できる環境でもあり、地域に開かれた施設であることに魅力を感じたとの感想をいただきました。

現在、小豆島には障がいのある方の暮らす場や働く場、さらに学びの場や交流の場も不足しています。ウインドヒルは、利用者が個々の特性を活かして作業を行ったりレクをしたり、いきいきと生活しているように感じました。小豆島も、今回の視察を参考として今後の障がい者施策に活かし、誰もが充実して過ごせる島づくりをしていきたいと考えています。

小豆島町役場健康福祉部健康づくり福祉課 三木 智之

## ～三谷町 三渓小学校教職員の皆様～

ウインドヒル現地研修を7月25日(火)三渓小学校の教職員研修として、ウインドヒルにて特別支援教育の視点から自閉症について学ぶ機会をもたせていただきました。講話では、教員にとっていた事前アンケートの内容に答えていただいた後、松原様ご自身の子育てや法人理念、個々の発達に合わせた関わり方等のお話をお聞きしました。また、施設見学では入所の方々が集中して作業に取り組む姿や体育館で楽しく活動されている様子を見させていただくことができました。



この研修に参加した教職員の感想を一部ご紹介します。

- ・松原様のお話の中に何度も出てきた「一貫性をもって」、「あきらめずに」、「継続して」ということは学校現場でもモットーとしていきたい。
  - ・支援者として寄り添う際は、何事も先手必勝で先を見通して計画・指示・見守りを行うということを聞き、学校現場でも大切なことだと感じた。
  - ・障害の有無に関わらず本人の長所に目を向けて関わり続けることが子と関わる時の基本であると思った。
- 松原様をはじめとするウインドヒルの方々の熱い思いにふれることができ、教職員一同大変有意義な研修となりました。これからの学校現場でも生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

三渓小学校 現職教育主任 平松 遥



**苦情解決のお知らせ(平成29年6月1日～平成29年9月30日) 苦情受付件数 0件**



モモウ

2006年1月生まれ

### 編集後記

今号は掲載記事が盛りだくさんで、読みづらく感じたと思います。アレもコレもとお伝えしたい情報がたくさんあり、欲張ってしまいました。ご了承ください。

法人の理念に基づいた利用者の生活・行事、地域との関わり、研修関係などをご紹介させていただいています。

皆様方のご意見等をお寄せくだされば幸いです。



松ぼっくりの  
松ぼっくりの  
ポムです。 パンです。